

## 1 1 . 保健環境研究所の取組み

### 1 . 平成 21 年度の取組み

#### (1) Sullivan 法による「三重県の健康寿命（推計手法）」の活用

健康寿命は、「ヘルシーピープルみえ・21」を的確に推進するとともに、その進行管理及び事業評価を科学的かつ効果的に行うための最重要指標の一つです。このため、保健所管内、市町（介護保険者）のレベルで時系列比較や地域間比較が容易にでき、また都道府県等の地域間比較も同様に容易にできることを基本条件として、平成14年度から健康寿命推計手法の検討を進めてきました。

健康寿命の算定方法としては、基礎資料が比較的入手しやすいと考えられる Sullivan 法を基本として検討し、推計に必要な基礎資料は「生命表」と「性・年齢階級別の障害有病率」ですが、生命表は「Chiang 法」により作成し、「ヘルシーピープルみえ・21」における健康寿命を介護保険法の要介護認定を受けることなく、自立して心身ともに健康的な日常生活を営むことができる期間（平均自立生活期間）と定義付け、障害有病率は「介護保険法に基づく要介護認定者数の被保険者数に対する割合」を用いました。この手法を用いることで「三重県の健康寿命」を比較的容易に算出することが可能となり、平成21年度も引き続き基礎資料の収集と健康寿命の算定を行いました（算定方法の詳細は日本公衆衛生雑誌第53巻第6号437～447頁をご覧ください）。

#### (2) 技術支援等

健康福祉部健康づくり室が実施する県保健福祉事務所及び市町保健関係職員等を対象とした「情報専門職養成研修」において、地域の健康情報の収集、解析など地域保健事業を科学的根拠に基づき推進していくうえで担当者自身が抱えている統計処理方法等に関する課題解決のための技術支援を実施しました。

統計データの処理・検定方法、各種統計データに関する照会など県保健福祉事務所、市町等関係機関からの問い合わせに対して、情報提供・技術支援を実施しました。

#### (3) 健康づくりに関する知識の普及啓発等

健康づくりに関する知識の普及啓発を目的に保健環境研究所1階ロビーにパンフレットなど資料を常設しています。また、農水商工部科学技術・地域資源室が実施するイベント・行事で健康チェックや健康づくりに関するビデオの上映などを行いました。

##### 開催状況

ア) 第50回科学技術週間施設一般公開（来場者数：土、日曜を除く5日間で21名）

開催日 平成21年4月13日（月）～17日（金）

開催場所 保健環境研究所

イ) 子ども科学体験教室（来場者数：2日間で825名（イベント全体））

開催日 平成21年7月18日（土）～19日（日）

開催場所 保健環境研究所

実施内容

健康に関連する「政府インターネットテレビ」の公開放映、パンフレットなど啓発資料の展示・配布など。

2 平成 21 年度成果

(1) 健康寿命は、障害有病率を「介護保険法に基づく要介護認定者数の被保険者数に対する割合」として「Sullivan 法」を用いることで、「三重県の健康寿命」を介護保険者単位まで比較的容易に算定することが可能となり、平成 13～20 年度の保健福祉事務所別（表 1 には三重県及び保健福祉事務所別の平成 15～20 年の 6 ヶ年を掲載）、介護保険者別健康寿命を推計しました。

推計結果では、推計開始当初は介護保険法が施行されて間もないことから、障害有病率の基礎データとなる要介護認定数が年々増加していたため、評価の目安となる障害期間も増加傾向を示していましたが、平成 17 年度以降（図 要介護認定者数：三重県 参照）は要介護認定数が安定してきたこともあり、各地域とも比較的安定した数値を示しています（表 1）。

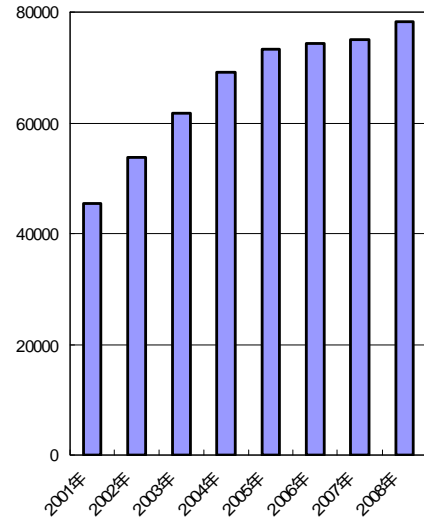


表 1. 各保健福祉事務所別平均寿命・健康寿命・障害期間：平成15～20年度

男	平均寿命						健康寿命						障害期間					
	15	16	17	18	19	20*	15	16	17	18	19	20*	15	16	17	18	19	20*
三重県	78.6	79.0	79.0	79.1	79.6	79.3	76.2	76.4	76.4	76.5	77.0	76.7	2.4	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
桑名*	78.5	79.3	79.8	80.0	79.5	79.2	76.5	77.0	77.4	77.7	77.4	76.7	2.0	2.3	2.4	2.3	2.1	2.5
四日市*	78.5	78.9	78.7	78.9	79.2	78.7	76.2	76.3	76.3	76.5	76.7	76.2	2.3	2.6	2.4	2.4	2.5	2.4
鈴鹿	79.7	79.1	78.8	80.0	79.6	79.8	77.2	76.7	76.5	77.4	77.1	77.5	2.5	2.4	2.3	2.7	2.4	2.3
津	78.9	79.9	79.9	79.2	80.8	79.9	76.3	76.9	77.0	76.4	77.8	77.3	2.6	3.0	2.9	2.8	3.0	2.6
松阪	78.9	79.0	78.9	79.6	79.8	79.6	76.4	76.4	76.3	76.8	77.0	76.8	2.5	2.6	2.6	2.8	2.8	2.8
伊勢	77.8	78.2	78.5	78.1	79.3	78.9	75.8	75.9	76.3	75.8	76.8	76.5	2.0	2.4	2.3	2.3	2.5	2.4
伊賀	78.9	78.8	78.6	79.4	79.5	79.0	76.3	76.0	75.9	76.4	76.6	76.1	2.7	2.8	2.8	3.0	2.9	2.9
尾鷲	77.1	79.3	77.8	76.3	79.2	78.9	74.5	76.4	75.0	73.6	76.2	76.2	2.6	2.9	2.7	2.8	3.0	2.8
熊野	76.5	77.6	78.1	77.0	78.3	78.9	73.9	75.0	75.3	74.2	75.6	76.0	2.6	2.7	2.8	2.9	2.7	2.8
女	平均寿命						健康寿命						障害期間					
	15	16	17	18	19	20*	15	16	17	18	19	20*	15	16	17	18	19	20*
三重県	85.5	85.8	85.6	85.9	86.2	86.4	80.1	79.8	79.7	79.9	80.3	80.4	5.5	5.9	5.9	5.9	6.0	6.1
桑名*	86.2	85.8	86.1	86.0	86.8	86.8	81.1	80.5	80.7	80.9	81.2	80.7	5.1	5.2	5.3	5.1	5.6	6.1
四日市*	85.3	85.2	84.9	85.6	86.5	85.1	79.8	79.3	79.2	79.8	80.5	79.6	5.5	5.9	5.7	5.8	6.0	5.5
鈴鹿	86.0	86.3	85.5	85.9	85.8	86.1	80.7	80.6	80.2	80.4	80.4	80.6	5.2	5.8	5.3	5.5	5.4	5.5
津	85.7	86.2	86.4	86.7	86.7	86.8	79.9	79.8	79.7	80.0	80.4	80.5	5.8	6.4	6.7	6.6	6.3	6.3
松阪	85.8	86.1	85.8	86.0	86.5	87.1	80.4	80.1	79.9	79.8	80.0	80.6	5.4	6.0	5.9	6.2	6.4	6.5
伊勢	85.0	85.4	85.3	85.4	85.5	86.9	80.2	80.1	79.9	80.1	80.2	81.2	4.8	5.3	5.4	5.3	5.3	5.7
伊賀	85.9	86.1	85.2	85.6	85.8	86.2	79.8	79.6	78.6	79.0	79.2	79.4	6.1	6.5	6.6	6.6	6.6	6.7
尾鷲	83.7	84.5	85.0	84.3	85.2	86.1	78.1	77.7	78.5	77.7	79.3	80.1	5.6	6.9	6.5	6.5	5.9	6.1
熊野	84.3	86.8	86.6	86.3	85.9	86.5	77.9	79.6	79.2	79.2	79.2	79.8	6.4	7.2	7.4	7.1	6.7	6.7

平成20年度の算定値は、桑名保健所管内に菟野町、朝日町、川越町を算入し、四日市保健所管内は、四日市市のみを集計としています。

- (2) 健康づくり推進を担う職員を対象とした技術支援（情報処理研修、健康づくり意識調査情報処理技術支援、統計情報の提供等）を通じて関係職員の技術水準の向上に貢献しました。平成 21 年度は 4 課題の支援申し込みがあり、参加者は市町職員（3 市町 5 名）、県保健福祉事務所職員（3 所 3 名）でした。なお、第 68 会日本公衆衛生学会（平成 21 年 10 月 22 日（木）発表：奈良県文化会館）において、技術支援を実施した 1 課題（いなべ市「EPDS の導入・活用～EPDS の区分点と愛着障害に関する新たな着眼点～」が 1,594 題中 90 題に与えられた優秀演題賞を受賞しました。
- (3) 保健環境研究所 1 階ロビーでのパンフレットなど資料の常設や保健環境研究所が実施するイベント・行事等で啓発資料の公開放映、展示などを行うことで、健康づくりに関する知識の普及啓発、並びに健康づくりに対する気づきを働きかけました。
- (4) 「ヘルシーピープルみえ・21」の計画期間が 2 年間延長され、当初の計画にメタボリックシンドローム、糖尿病等の重点的な取組に関する項目が追加されましたが、新たに追加された指標である「メタボリック該当者（予備群）」、「糖尿病有病者（予備群）」等の現状把握方法、健康取り組みの有効性評価方法に定まったものがないことから、平成 21 年度からの新規研究事業「地域健康課題の現状分析と対応戦略研究」によりこれらについて検討を行い、老保健診事業で得られたデータの有効活用等について示唆が得られました。

### 3 平成 22 年度の方針・実施計画

- (1) Sullivan 法による「三重県の健康寿命（推計手法）」の普及・活用  
「ヘルシーピープルみえ・21」を的確に推進するとともに、その進行管理及び事業評価を科学的かつ効果的に行うため、引き続き算定基礎となる人口動態データ、介護保険データを収集・解析し、推計精度の向上を図りつつ健康寿命の算定を行っていきます。
- (2) 技術支援  
地域における健康づくりの推進を担う保健福祉事務所（保健所）職員、市町職員等への保健・医療等情報処理に関する技術支援（情報処理上の技術支援）を通じて関係職員の職務遂行能力の向上はもとより、健康づくり事業の的確な実施と施策の実現に貢献します。
- (3) 健康づくりに関する知識の普及啓発等  
引き続き保健環境研究所 1 階ロビーにパンフレットなどの資料を常設して健康づくりに関する知識の普及啓発を図ります。また、保健環境研究所が計画するイベント・行事等で啓発資料の公開放映、展示などを行い、県民の皆さんに健康づくりに対する気づきを働きかけていきます。
- (4) 地域健康課題の現状分析と対応戦略研究  
平成 21 年度における検討結果を踏まえ、引き続き、「メタボリック該当者（予備群）」、「糖尿病有病者（予備群）」等の現状把握方法、健康取り組みの有効性評価方法を検討します。